

会 議 記 録

市民参加協働部 市民参加・協働推進課

開催日	平成 25 年 8 月 20 日(火)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 30 分
会議名	上田中央地域協議会(平成 25 年度第 5 回)		
出席者	浅井委員、飯島委員、尾沼委員、河田委員、神林委員、栗内委員、栗田委員、佐藤委員、塩入委員、中村彰委員、松澤委員、宮坂委員、宮島委員、宮本委員、村上委員、矢島委員、山浦委員、渡邊委員 (欠席委員)久保田委員、藤川委員 (事務局)神林地域振興政策幹、小泉市民参加・協働推進係長、堀内市民参加・協働推進課主査		
会議次第			
1 開会(事務局)			
2 会長あいさつ 皆さんこんにちは。毎日猛暑が続いていますが、同じ日本の中でも取水制限がされている地域があったり大雨が降って水害がでている地域があったりしています。この気候の変動も地球温暖化が原因だといわれていますが、大変なことになっていると感じています。今日は、わがまち魅力アップ応援事業の審査結果の報告と先日視察研修に行かれた分科会より視察報告をお願いしたいと思いますのでよろしくお願い致します。では、事務局よりわがまち魅力アップ応援事業の審査結果報告をお願いします。			
3 協議事項			
(1) 分科会は、全体協議の後に開催			
(2) わがまち魅力アップ応援事業(山口大根の会)の再申請について 事務局：わがまち魅力アップ応援事業の第 2 回の審査結果の報告について、お手元の資料を基に説明します。 資料のとおり、採択事業：2 件、不採択事業 5 件 不採択事業のうち 1 件(山口大根の会申請事業)は 2 年間の継続事業としては認める差し戻し扱い となっています。 前回の結果を受けて、今回 8 月 5 日付、山口大根の会から H24、25 年度の 2 カ年事業として申請がありました。前回の協議の中で、事業内容に不明な点があっ			

たので今回改めて理解を求めたいと思いますが、資料にありますとおり団体としての活動は平成 17 年から始まっていて、申請事業とは別に 40 万円位の年間の収支で普及活動を行っています。この通常の活動とは別に、わがまち魅力アップ応援事業に申請があった内容は、山口大根をもっと多くの市民の皆さんに知ってもらい、伝統野菜としてさらに普及させていくために、おやきの具（切り干し大根）として活用していこうという事業です。（新たな取組）

昨年度は、この取組に賛同をいただけた企業等が 5 件ありましたので、今年度は、こちらを更に充実させ、生産・加工・販売につなげていけるよう継続的に活動を行っていく予定となっています。なお、昨年度の条件付採択としての条件は、事務局として資料の通り対応させていただいていますので、ご承知願います。

会長： ただいま、事務局から説明をいただきました。この件で何かご意見のある方いますか。なければ、地域協議会としては 2 年間の継続事業としての申請を承認していきたいと思いますがよろしいですか。（承認）

（3）その他

会長： 続いて、各部会より先日の視察研修の報告をお願いします。

第 1 分科会

委員： 第 1 分科会では、掛川市と土浦市へ視察研修に行ってきました。全体の報告はこれからまとめますので、一言だけ感想を述べたいと思います。循環バスの状況を見ると、地域のバスとしての認識、乗りたくなるバス等、比較しますと相対的に上田市が 3 市の中では劣っているのかなと正直感じました。また詳しくはまとめて報告したいと思います。また、今回、城南地域協議会の方も一緒に参加されました。そこで同じテーマで取り組んでいる協議会の方達もいるということがわかりました。ぜひ視察研修の同行もそうですが他の地域協議会の方々との意見交換の場も設けていきたいと思います。

会長： ありがとうございます。先日の正副会長会でも意見交換の話がでまして、9 地域でそれぞれの協議会の調査研究テーマを発表しました。その中で同じような議題をとりあげられているグループ同士の意見交換は大事なことなので、その話は正副会長会の中でも積極的に進めていきたいと思いますという話になっています。

それでは続いて第 2 分科会をお願いします。

<第 2 分科会>

委員： 第 2 分科会では、岐阜県中津川市へ視察研修に行きました。第 2 分科会のテー

マとして防災、災害時の対策として、地域の幼児や高齢者をどう支えあっていけばいいのかということで、協議を進めてまいりました。こうした中、地域で認知症の方のマップ作りをされている例（先進地）として中津川市の取組を参考にさせていただくため、多少切り口は違いますが研修させていただきました。

今回、視察を通して具体的なお話を聞く中で、各地域を50人位に分け、その地域の方達に集まっていただき、地図を拡大して「この家はどうなっている」というように、つながりや現在の状況をみなさんで地図に書き込んでいき、みんなで把握し見守り支え合っているということを実践されていることが分かりました。少しずつですが、地道にこういった作業をやっていくことによって、住民の意識も高まり支え合いになると感じました。以上簡単ですが報告させていただきます。

会長： ありがとうございます。全体を通して何かありますか。なければ全体会は終了します。引き続き分科会へお願いします。

(1) 分科会による調査研究（分科会開催）

4 次回会議の開催と日程について

第6回中央地域協議会 平成25年 9月25日（水）

第7回中央地域協議会 平成25年10月22日（火）

第8回中央地域協議会 平成25年11月14日（木）

5 閉会